

国土交通大臣
太田昭弘殿

川崎商工会議所
会頭 山田 長満
川崎市の幹線道路の整備を促進する会
会長 山田 長満
川崎市市長
福田 紀彦

川崎縦貫道路等の早期整備について（要望）

産業界ではアベノミクス効果と相まって東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れた官民の事業が、実感され始めたという声も聞かれるようになりました。こうした中、川崎市は、増々重要度を高める羽田空港と京浜港湾を至近に有し、首都圏における立地優位性や高度な研究開発機能の集積などを強みとして、臨海部を中心に既存産業の高度化・高付加価値化や先端医療、科学産業の集積・創出、物流機能の高度化などにより活力ある地域が形成され、持続的な発展を続けています。また、「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」として、多摩川を挟んで羽田空港の対岸に位置する殿町地区を中心に、わが国の国際競争力の強化に資する国際戦略拠点の形成を進めているとともに、平成26年5月1日には、大田区と川崎市を含めた東京圏が国家戦略特別区域に指定されたことから、国際的ビジネス拠点の形成を促進するための環境整備における、交通機能の更なる強化が必要となります。

加えて、川崎臨海部は東扇島基幹的広域防災拠点やエネルギー供給施設の集積など首都圏における重要な役割を担っているエリアを有しており、災害時における交通機能の確保という観点からもミッシングリンクの早期解消は不可欠です。また、東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れた交通機能の強化に取り組むことが必要です。

そうした中、川崎縦貫道路や一般国道357号などの幹線道路ネットワークの整備や羽田空港を中心とした拠点形成に資する羽田連絡道路の早期整備を求める声が、産業界や市民からも数多く聞かれております。つきましては、一刻も早くミッシングリンクを解消し、川崎市の立地優位性を活かした国際的ビジネス拠点強化、災害時緊急輸送及び迂回機能の強化、環境改善、新産業誘発の強化など多様な効果を生む次の3点の幹線道路整備にご高配賜りたくお願い申し上げます。

併せて、社会資本整備を進める上での幹線道路整備及び老朽化対策の推進の予算についても確保されるようお願い申し上げます。

1. 川崎縦貫道路Ⅱ期計画について、東京外かく環状道路東名以南との一本化を含めた幅広い検討を進め、早期に計画の具体化を図ること。
2. 川崎縦貫道路Ⅰ期事業の街路計画を基本に、国道409号の一般部の先行整備や川崎駅周辺の交通円滑化のための国道15号～国道1号間のバイパス化などの整備について、早期実施を図ること。
3. 羽田連絡道路の早期整備に向けた取り組みを進めるとともに、一般国道357号の未整備区間の早期整備に向け、段階的に取り組みを進めること。

以上

